

# 風のひろば

December

2023

vol.23

大分県立看護科学大学  
創立25周年記念講演会と現在  
大学の今  
トピックス  
卒業生・修了生インタビュー  
看護学実習を終えて  
研究紹介



# 大分県立看護科学大学 創立25周年記念講演会と現在

理事長・学長 村嶋 幸代

大分県立看護科学大学は、1998年4月に創立され、6月19日に創立記念式典を挙行しました。4年後には修士課程、その2年後には博士課程を開設するなど、順調に大学としての形を整えてきました。本年度、2023年度は、創立後25年が経過したところです。

創立25周年を記念し、講演会を実施しました。また、初代学長である草間朋子名誉学長が、第49回フローレンス・ナイチンゲール記章を受章されたので、9月に講演会を開催しました。本稿では最初に2つの講演会を紹介し、その後、大学の現在を述べます。

## 1. 6月19日(月)・創立25周年記念講演会 「研究倫理と実践における倫理」

近年、研究や実践を行う上での倫理的課題が強く問われるようになってきました。研究遂行上の重要な指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(以下、倫理指針)が令和3年6月に施行され、今も改訂が重ねられています。

そこで、講演会のテーマに研究倫理を

取り上げました。

講演会は2部構成とし、教職員・大学院生、看護関係者等75名が参加しました。

- (1) 研究倫理・安全委員会草野淳子委員長(小児看護学教授)  
解説:「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改定について
- (2) 麻原きよみ先生(聖路加国際大学大学院看護学研究科長・教授)  
講演:「研究倫理と実践における倫理」

麻原先生は、長野県松本市の保健師として勤務後、東京大学大学院医学系研究科博士課程で博士(保健学)を取得(1997年)し、公衆衛生看護学・看護倫理学の分野で幅広く活躍中です。東日本大震災時の放射線事故の際は、福島で支援活動を行い、「保健師の放射線および放射線防護に関する教育」現状と今後に向けて」を編集執筆しています。

ご講演の前半「研究倫理」では、研究倫理の歴史、理念、ガイドラインが解説され、研究者の不正防止とその体制にも触れられました。

後半の「実践における倫理」では、

①実践を倫理の視点からとらえる、②保健医療現場で見逃される倫理問題(意思決定の在り方、組織の要因、看護職自身のwell-being等)について、豊富な実践例を交えて説明されました。「看護師の実践そのものが倫理実践」であり、ナースは倫理的ジレンマを感じやすい職種であることが分かりました。講演の最後には、ナース自身がケアされる必要性に触れ、コロナ感

染症時の大変な状況を想起し、聴衆も感情がゆさぶられる場面がありました。

麻原先生の学識と見識、正義感、感性の豊かさが示された講演でした。



きよみ

## 2. 9月16日(土)・草間朋子名誉学長、第49回フローレンス・ナイチンゲール記章受章記念講演会と祝賀会

### 1) 受章と本学との関係

草間名誉学長の主な受章理由は、放射線看護の開拓です。また、診療看護師(ナースプラクティショナー・NP)の養成を、日本で最初に開始、発展させてきたことです。いずれも、草間先生の本学の理事長・学長時代の活動が基盤になっています。2008年に院生3人が

ら始めたNP教育は、一般社団法人日本NP教育大学院協議会の創設につながり、2023年9月現在、加入校15校、修了生759人に発展しています。

### 2) 講演「大分県立看護科学大学創立時の想いと発展への期待」

講演では、創立時に「科学」「県立」を重視したこと、特色ある7つの講座/研究室を置いたこと、2008年に診療看護師(ナースプラクティショナー・NP)の教育を開始したこと等を述べられました。また、本学への期待として、「活力ある、キラキラ輝いた大学」「時代・社会のニーズに対応し、進化・発展し続ける大学」「卒業生・修了生等が、自分達の大学」として何時でも立ち寄れる大学」を挙げられました。



草間先生のエネルギと本学に対する熱い想いを改めて感じた講演でした。

高校生を含めて、102名の参加がありました。

### 3) 国際看護学研究室の歴代教授の出席とソウル大学看護学部長からのお花

国際看護学研究室の歴代4教授の内、洪麗信、金順子、李笑雨の3先生がご出席くださいました。洪先生からは日本語

と英語・韓国語からなるスピーチをいただきました。また、姉妹校であるソウル大学看護大学の朴妍煥看護学部長から、胡蝶蘭をいただきました。

#### 4) 祝賀会

祝賀会では、教職員、卒業生、修了生たちが旧交を温めました。本学の前身、大分県立厚生学院の同窓会「草の実会」の佐藤玉枝会長、本学同窓会「四つ葉会」の荒木章裕副会長から、お祝いの言葉をいただき、本学の設置準備室に勤務された青野浩志氏（現・大分県椎茸農業協同組合代表理事）の万歳三唱で幕を閉じました。

### 3. 現在までの発展と今後



大分県立看護科学大学は、この25年間に、1786名の学部卒業生、311名の修士修了生、32名の博士を社会に送り出すことができました。卒業生・修了生たちは、大分県を始め、全国で活躍しています。

本学は、時代の変化と共に、進化・発展し、看護の最先端を切り拓いてきました。その際、常に、建学の精神「看護学の考究」「心豊かな人材の育成」「地域社

会への貢献」が基軸にありました。

#### 1) 学部教育

2011年には、医療の進歩に伴い、実践力の高い看護師を教育することに注力するため、学部は看護師教育に特化した。一方で、学校保健に看護が関わる重要性を考慮し、2015年には養護教諭（一種）を開始し、65名が免許を取得しました。

現在、学部教育では、科学性を涵養するため、開学以来実施してきた健康科学実験を堅持しています。また、予防的家庭訪問実習を正規科目と位置づけ、学生が地域の高齢者と4年間関わることで、地域志向と長期的な視点を育成することを目指しています。令和4年度からは新たなカリキュラムを導入し、未来を切り開く人材の育成に取り組んでいます。今後も教育の質を高めながら、地域社会に貢献できる看護職の育成に努めます。

#### 2) 大学院教育

修士課程は2004年の開設後、研究者養成を行うと共に、2008年のNP教育開始時に実践者養成コースとし、助産師教育、保健師教育、看護管理・リカレント教育を含めて、修士課程における実践者養成を確立してきました。実践者コースには、各々地域枠を設定し、全国から集まる院生と大分県出身者が切磋琢磨できるようにしました。

その結果、NPコースは76人が修了し、その内30名強が大分県内で活躍して

います。広域看護学コースは50名が修了し、その内28名が大分県内で保健師として活躍しています。助産学コースは61名が修了し、21名が大分県内で就業しています。看護管理・リカレントコースは、様々な職場で管理者やリーダーとして活躍する方々が共に学び、修了後に日本看護協会の認定看護管理者を取得する人もいます。

博士号を取得した人は、26名になりました。多くは、九州各県の大学で教授・准教授として活躍中です。今後、実践現場のリーダーにも博士が増えていくと思います。

#### 3) 研究室の再編と実習室の整備・DX化

開学後25年経つと、草創期の教員が退職になります。そこで、全学の了解を得ながら、看護学を強化してきました。社会看護学研究室を新設し、成人・老年看護学研究室を成人看護学研究室と老年看護学研究室に各々独立させました。NP研究室も新設し、NPのカリキュラムを改正して、特定行為を含めて教育が円滑にできるようにしました。更に、DXが求められる中、地域医療介護総合確保基金と文科省からの補助金を得て、実習室を大改造しました。これにより、演習のやり方が抜本的に変わります。今後は、実習記録を含めたICT化に努めます。

#### 4) 地域への貢献と国際交流

地域貢献としては、大分県・大分県看護協会・大分大学・大分県看護管理者連絡協議会と一緒に、「中小規模病院等看

護管理者支援事業」を2017年に興し、以来7年間、コロナの間も大分県の各地で看護管理者達の集いを持つてきました。その成果を毎年報告会を開いて共有し、看護管理の向上に取り組みできました。

国際交流は、韓国蔚山大学等の定期交流を開始するとともに、新たにインドネシアのムハマディア大学とも協定を結びました。本学の教員が製品開発を支援した県内企業が同国に進出する際には同行するなど、県が豊かになることに貢献しています。

#### 5) 同窓会「四つ葉会」の成長と活動の活発化

同窓生には終生のメールアドレスを付与し、名簿作成と連絡がつく仕組み作りを支援しました。四つ葉会は、会として母校の学生の学修を奨励したいと、今般学部3年生への賞を新設してくださいました。令和6年の春から実施します。

以上、近年の主な取組を示しました。いづれも、近い将来、更に大きく花開いていくと期待しています。

本学は、大分県の看護学の拠点として、看護を科学し、豊かな未来を拓いていきます。今後も歩みが続けます。今までも、本学に関わり、導き、支えてくださった多くの方々に、心から感謝し、これから一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 大学の今

## 法人評価委員会にて「S評価」を獲得

令和5年7月14日（金）に大分県庁で大分県地方独立行政法人評価委員会が開催され、本学の第3期中期計画（H30～R5）に基づく、令和4事業年度の実施状況が審議されました。審議の結果、5つの大項目のうち「教育研究等の質の向上」と「業務運営の改善及び効率化」の2つでS評価（特筆すべき進捗状況）、その他の3つの大項目（「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び情報提供」、「その他業務運営」）もA評価（計画通り）となり、前年度と同様に高い評価をいただきました。特に、教学マネジメント・I・R（Institutional Research）の構築、教育のDXや看護の臨床判断力や看護技術を高めるアクティブラーニングの強化等によって学習効果をあげている点、過去最高となった学部卒業生の県内就職率、大学機関別認証評価で基準を満たしていると評価された点、教育の充実及び教員の負担の平等化のために全学の合意のもとに研究室編成を変更した点、研究による地域医療への貢献、外部資金の獲得、学内の良好な雰囲気づくりや教員のより良い進路選択へつなげるため、学長が適宜個人面談を実施している点等が高く評価されました。今後も、学生や地域にとって魅力ある大学になるように、多くの方々から意見を頂きながら、積極的に改善や改革を進めて参ります。

## 卒業生の就職進路動向

令和4年度の就職進路状況は、別表のとおりです。学部卒業生74名の81・1%が就職し、17・6%が進学しました。県内就職率は例年50%程度ですが、今回は60・0%と過去最高になりました。主な就職先は、実習病院である大分県立病院や大分大学医学部附属病院、大分赤十字病院、また、地域医療を担う厚生連鶴見病院などの医療機関となっています。

就職・進路支援委員会では、学生自身で適切に進路選択ができるよう、入学早期からガイダンスを行い、県内施設の卒業生や看護部長さんの協力を得て、看護実践の醍醐味や県内施設の魅力を継続的に発信してきました。また、具体的なサポートとして、県内病院の元看護管理者である「就職相談員」による学生全員の個別面談や進路別模擬面接を行うなど、学生が持つ進路の悩みや迷いに対応してきましたところです。

令和4年度から導入した1年生への就職ガイダンスの感想をみると、「大規模な病院とともに地域医療を提供する身近な病院も視野にいれ、自分の希望する就職先を早い段階から考えていきたい」など意欲的な声が多くありました。今後も本学の学生一人一人が県民の医療を支える専門職として、未来に希望をもって活躍できるように、しっかりと支援していきたいと思えます。

## 令和4年度 卒業生進路状況 (令和5年3月31日現在)

### 【学部生】

#### 1 卒業生の状況(74名)

就職	60名	81.1%
進学	13名	17.6%
未定	1名	1.3%

#### 2 就職先内訳

##### (1) 地域別

大分県内	36名 (県内出身者31名+県外出身者5名)	60.0%
大分県外	24名 (県内出身者8名+県外出身者16名)	40.0%
計	60名	100.0%

##### (2) 就職先

独立行政法人等	27名	45.0%
都道府県	8名	13.3%
市町村	3名	5.0%
民間	22名	36.7%
その他	0名	0.0%
計	60名	100.0%

大分県内	大分大学医学部附属病院、大分県立病院、アルメイダ病院、井野辺病院、大分岡病院、大分赤十字病院、厚生連鶴見病院、天心堂へつぎ病院、別府発達医療センター、リバーサイド病院、大分県教育委員会（さくらの杜高等支援学校）ほか
大分県外	国立がん研究センター、国立成育医療研究センター、昭和大学附属江東豊洲病院、東京大学医学部附属病院、虎の門病院、日本医科大学附属病院、明理会中央総合病院、湘南鎌倉総合病院、山梨県立中央病院、名古屋大学医学部附属病院、大阪母子医療センター、公立豊岡病院、呉共済病院、九州医療センター、産業医科大学病院、浜の町病院、福岡市立こども病院、佐賀県中部病院、済生会熊本病院、和歌山県立熊野高等学校、大町町立大町ひじり学園

#### 3 進学先内訳

- 大分県立看護科学大学大学院 8名  
(広域看護学コース5名、助産学コース3名)
- 宮崎県立看護大学大学院 1名
- 熊本大学教育学部養護教諭特別別科 2名
- 西南女学院大学 助産別科 1名
- 熊本看護専門学校 1名

団法人 Neighborhood Care 代表理事)、川添高志先生(ケアプロ株式会社 代表取締役)、サリット・オルロフスキー先生(米国ペース大学看護学部 准教授、在宅医療サービス Sterling Care, Director)を講師に迎えました。地域の健康問題を解決するための看護師による「起業」の実際、今後の展望や課題等について講演いただき、看護の可能性や起業という選択肢について考える貴重な場となりました。



## ■韓国の蔚山大学を訪問しました(学生交流プログラム)

8月21日～25日の5日間、本学の学生6名と教員2名が、韓国蔚山大学を訪問しました。現地では、病院などの医療福祉施設を見学し、日韓の医療福祉現場の相違を学びました。また滞在期間中は、1ヶ月ぶりに再会した蔚山大学の学生との交流を深めました。4年ぶりの学生交流プログラムでしたが、韓国の皆さんが温かく迎えてくださり、充実した5日間を過ごすことができました。



## ■オープンキャンパスを開催しました

7月15日(土)にオープンキャンパスを開催しました。4年ぶりの対面開催となり、高校生234名、保護者141名、計375名が来校されました。大学の紹介や入試説明、模擬授業、キャンパスツアー等にご参加いただきました。暑い中でしたが、多数の参加を得て、感謝しています。



## ■韓国の蔚山大学の学生が大分を訪問しました(学生交流プログラム)

7月17日～21日の5日間、韓国の蔚山大学から学生6名、教員2名が大分を訪問しました。本学では、キャンパスツアーやウェルカムランチの後、2年生約30名との学生交流会を行いました。また、地域の医療福祉施設の見学や湯布院観光などを体験し、本学の学生・教員とも交流を深めることができました。



## Information [お知らせ]

### 「未来応援基金」 ご寄附のお願い

「未来応援基金」は、大分県立看護科学大学創立20周年を契機に、学生の学業の継続や地域との連携、国際化・グローバル化への対応等、学生・大学院生の活動を支援するために設置された基金です。

確かな看護の力で地域の保健医療を牽引し、より良い社会を創造する看護職を育成するために、皆さまの温かいご支援を心からお願ひ申し上げます。

#### 使 途

皆さまからいただいたご寄附は、学生・大学院生の支援のため、下記事業に活用させていただきます。

- (1) 学業の継続(奨学金の給付、授業料等の減免等)
- (2) 地域連携(地域貢献活動への支援、地域の保健医療機関での研修支援、自治体・地域・企業と連携した研究教育等)
- (3) 国際化・グローバル化への対応(短期留学、国内外での活動、研修派遣等)
- (4) その他、基金の目的達成に必要な学生・大学院生の活動支援

#### 寄附金額

金額は特に定めておりませんが、1口1,000円として何口でも可能です。

基金の趣旨にご賛同くださる方ならどなたでもご寄附いただけます。

#### ご寄附の方法

大学ホームページ(<https://www.oita-nhs.ac.jp>)掲載のフォームからお申し込みいただくか、本学事務局まで電話にてご連絡をお願いします。

#### お問い合わせ先

大分県立看護科学大学未来応援基金事務局  
(大学事務局総務グループ内)  
TEL : 097-586-4300(代表)  
FAX : 097-586-4370  
E-mail : somu@oita-nhs.ac.jp

## ■本学の消防応援隊が「救急の日」及び「救急医療週間」に伴う街頭啓発活動に参加しました

本学の消防応援隊の学生5名が、「救急の日」の前日、9月8日(金)の朝7時30分から1時間、大分駅前広場において「救急の日」及び「救急医療週間」に伴う街頭啓発活動に参加しました。大分市消防局や大分市消防団などと協力して、市民に対する呼びかけやリーフレット等の配布を行いました。



## ■第25回看護国際フォーラムを開催しました

10月28日(土)に第25回看護国際フォーラムを大分県看護協会と共催で、オンラインにて開催し、全国から227名の方々にご参加いただきました。「看護の未来を拓く起業という視点-地域における看護実践から-」をテーマに、吉江悟先生(一般社



宇佐市保健師  
健康課 副主幹  
池田 夕美絵

この度は、大分県立看護科学大学創立25周年おめでとうございます。

長年にわたる看護職の育成、地域貢献の功績をたたえ、関係者の皆様に心よりお慶び申し上げます。

25年前、1期生として入学し、緑輝く自然の中、真新しい校舎で仲間たちと楽しく、時には困難に向き合いながら看護を学んだ日々を、昨日のことのように思い出します。

先生方には、根拠に基づいた看護、人間のここからのだの素晴らしさを丁寧に教授いただきました。今思えば、個性のあるやんちゃな1期生をどのように育てようかと悩みながら関わっていたいたのではなかったかと思えます。ユーモアを交えながら楽しく学ばせていただいたこと、悩んだときには寄り添ってご指導いただいたこと、本当に感謝しております。

私自身は、大学卒業後、大分県済生会日田病院に看護師として2年間勤務しました。保健師助産師看護婦法が保健師助産師看護師法に変わった頃です。医療現場でも素晴らしい先輩、仲間と出会い、チームで看護することの楽しさを学びました。そして、看護行為の責任の重さと、患者さんやご家族の気持ちに寄り添う大切

さを学びました。その後は、宇佐郡院内町役場に保健師として入職し、市町村合併により宇佐市職員となり現在に至っています。

25年前に比べると、少子高齢化をはじめとした社会情勢の変化や新型コロナウイルス感染症の影響も受け、私たちの暮らし環境も大きく変わりました。コロナ禍では、各種保健事業の実施体制の変更が必要になり、市民の方からも不安や戸惑いの声も聞かれ、まち全体が元気のない雰囲気を感じられていましたが、今では活気を取り戻しつつあります。

どんなに時代が変わっても、おだやかな気持ちで、住み慣れた好きな場所で、幸せに過ごしたいという誰もが持つ願いは変わらないと思います。その願いを支えられるように、先輩が築いた公衆衛生看護の歴史を受け継ぎ、これまで出会った方や出来事から学んだことを活かして、尊敬する先輩と後輩や地域の組織、関係機関の皆さんと、宇佐市の人々の健康保持・増進のために努力してまいりたいと考えています。

最後に、大分県立看護科学大学の先生方を始め、関係者の皆様、日本全国、海外でご活躍の同窓生の皆様、学生の皆様、今後のご健勝とますますのご活躍をお祈りし、お祝いすることばにさせていただきます。



宇佐市役所に勤務している同窓生と一緒に  
(右から2番目が筆者)



医療法人同仁会  
大分下郡病院  
看護師長  
中井 亜弥子

私は今、大分市にある精神科単科の大分下郡病院に在籍しています。今年3月に第2子を出産したため、現在、育児休業中です。

学部1期生として卒業後は、地元に近い県外の急性期総合病院に就職し、新人看護師から看護の基礎を学びました。中堅になって患者・家族の精神的ケア、看護師のメンタルヘルスについて模索していたところ、縁あって母校の助手として看護基礎教育に携わる機会を頂き、その後、精神保健看護学を専攻するために日本赤十字看護科学大学院修士課程に進学しました。都内の精神科病院での実習やゼミを通して、修了後は大分で精神科看護に従事したいとの思いから、約10年前に現在の勤務先に入職しました。

初めは病棟スタッフとして急性期病棟に配属され戸惑いや葛藤の日々でしたが、当院の教育システムや同僚、上司、仲間を支えられながら勤続し、病棟副師長、病棟師長を経験する中で日本看護協会の精神看護専門看護師の資格を取得しました。その後、結婚、出産し、第1子の育児明けから、看護部長室付看護師長として勤務しました。配属当初は、まだ新型コロナウイルスの第3波の中にあり、治療法もワクチンも確立していない状況で、当院もコロナ

対策に奔走していました。そこで、発展的に新型コロナウイルス感染症対策委員会を組織化し、対策本部を置いて役割ごとに班構成しました。私は専門看護師としてメンタルヘルス班をおき、職員向けのリーフレットを作成し、相談窓口を設置しました。

当院の強みは、職員同士の顔がみえる関係性がありフットワークが軽く、いざという時の底力だと思っているのですが、段取りが複雑だった職員・患者向けのワクチン接種も、クラスター発生時も、ほんとうに大変でしたが、皆がそれぞれの立場で尽力したと思います。

看護部長室では、とにかく様々な情報が行き交います。患者さんやご家族の対応についての報告や相談、職員に関する教育的相談、勤務や福利厚生等の調整相談、設備環境に関する報告など多岐にわたります。また、看護部は組織の一の大集団ですから、他部門との情報共有や調整も欠かせません。過去、野生の猿の出没情報に対応するほど(ー)に多種多様な事象が起り、心が揺さぶられる時もあります。

私が耳を傾けるとときに心がけているのは、自分は何を感じるかということ、相手がどのような思いでどうしたいと思っているのか、そこで何が起っているのか、その背景や文脈を考えることです。まだまだ未熟で落ち込むことも多いのですが、今まで築いてきた関係性やネットワークを基に、ライフとワークのバランスを取りつつ、専門的実践を積み重ねていきたいと思っています。

## 看護学実習を終えて

4年間の看護学実習を終えて、たくさんの対象者やその家族への看護を見て、実践することができ、その中で看護の在り方を考え、自身の看護師像を作り上げることができました。

印象に残っているのは、訪問看護ステーションでの実習です。たくさんの方々の在宅看護を見学させていただいた中で、私が普段、普通に生活を送っているように、対象者にもそれぞれの生活があり、その生活の中に医療や訪問看護があることを痛感しました。そして、受け持ち患者さんの看護展開を通して、その人の生活をより良くするための看護として、その看護がその人らしさを阻害しないように介入していくことこそが看護の在り方なのではないかという考えに至りました。だからこそ、看護計画を立て、実施する際には個性や発達段階、その人らしさを加味することが必要不可欠であるのだと、これまでの学びと結びつけることができ、4年間の学びがより深まった実習でもありました。

今後、看護を実践する上で大切にしたいことは、人それぞれの普通を大事にすることです。その人がその人の普通の生活を送っている中で、看護師がその人なりの普通を理解することで、生活の一部としての医療が成り立つのではないかと考えました。当たり前のことかもしれませんが、これからこの気持ちを忘れずに、その人の普通を理解することで患者さんに寄り添った看護を実践できるようにしたいです。

4年次生 亀井 愛理



私は、4年間の実習の中で総合看護学実習が最も印象に残っています。この実習は、実習施設や実習目的・内容を全て自分で決め、積極的に行動することが求められます。これまでの実習はCovid-19の影響により、紙面上であったり、臨地でも時間制限があったりと、患者さんに対する直接的なケアを行うことができませんでした。そこで、ケアや指導を全てしたいと思い、担当看護師と相談しながら行いました。私は消化器の周術期の患者さんを受け持たせていただきました。その方は、術後順調に回復していましたが、段階的に食事形態を変えた際に食欲低下が起こっていました。その際、看護師の方は、炎症や痛みの緩和だけでなく、心理面を考え、患者本人に合わせた食事の提案を行っていました。このことから、痛みの緩和や合併症予防だけでなく、患者本人の思いを聞き、寄り添いながらケアを行うことが看護師の重要な役割であると改めて感じました。また、手術室での実習や外来実習、退院前カンファレンスにも参加することができました。これにより、様々な視点から患者さんを捉えることができたと考えます。

4年間の実習を終え、患者本人の思いや個性に合った看護について学ぶことができました。今後さらに細かな知識や技術を身につけ、患者さんの気持ちに寄り添える看護師になりたいと思います。

4年次生 丹田 実莉



### Research introduction

## 研究紹介

### せん妄の評価スケールと看護ケアの開発について

せん妄は、病気の影響による身体的要因や不安などの精神的要因、生活環境の変化などによって生じる一過性の急性脳機能障害であり、入院患者の20～30%に発症します。せん妄の主要症状には、注意障害(会話に集中できないなど)、睡眠覚醒リズム障害、思考の障害(入院していることが分からなくなるなど)があり、患者の苦痛体験につながります。また、せん妄は症状や重症度が日内変動するため、評価を繰り返し行う必要があります。簡便な評価スケールが必要となります。

私は、主に集中治療室(ICU)患者用せん妄評価スケールを開発・検証してきました。ICUでは、患者が人工呼吸で発語できないなど、せん妄評価が特に難しいにもかかわらず、妥当性が検証されたせん妄評価スケールは存在しませんでした。そのため、3種類の日本語版ICUせん妄評価スケールの活用可能性を調べるとともに、患者への評価負担が少ないスケールを特定しました。これらのスケールは、日本集中治療医学会のせん妄関連ガイドライン(J-PADガイドライン 2014)でせん妄評価の標準スケールに指定され、日本での利用状況が合わせて91%(日本版敗血症診療ガイドライン2020)にのぼり、広く普及しています。

また、私はせん妄看護ケアの開発も行っています。J-PADガイドラインでは、看護職による独自のケアが不明確でした。そこで、せん妄患者に出会うことの多い急性・重症患者看護専門看護師の活動を調査し、日本の看護師がICUや病棟で行っ

ているせん妄ケアの要素を抽出しました。看護師は、せん妄の予防・発症中・離脱後のすべての時期で、せん妄要因のモニタリングと管理的ケア(基盤的要素、認知と生活リズムを整えるケア(核心的要素)、さらに、家族の力を促すケア(補完的要素)を通して患者の生活をたてなおす支援を行っていました。つまり、状況によって刻々と変化する生活者のニーズ(生理的、安全、所属と愛、尊重、自己実現のニーズ)を看護師が追求し、それに基づいて基本的看護ケアを行うことが、患者の生活をたてなおすことにつながり、せん妄ケアとして機能する可能性があることを示しました。この研究は、ICUと一般病棟患者への具体的なケアを示したせん妄ケアリスト(Ver.1)(日本クリティカルケア看護学会 2020)の作成につながりました。私は、そのせん妄ケア委員会の担当理事として作成に関わり、現在は委員として普及活動を行っています。

せん妄の発症因子には高齢や認知機能低下があり、大分県でもせん妄患者の増加が予想されます。そのため、私は、本学で、せん妄ケアの考え方をふまえて生活者のニーズを追求すると共に、臨床でケアできる知識・技術・態度を備えた看護師の育成に取り組んで参ります。



成人看護学研究室 教授 古賀 雄二

## 大分県立看護科学大学後援会からのお知らせ

### ★助成事業を実施しました★

後援会は、大学の事業の援助、学生の福利厚生増進などを目的とし、学生生活の助成事業などを行っています。コロナ禍による制限もようやく緩和され、盛り上がりを見せてきた学生生活に対する助成を紹介いたします。

#### (1) 若葉祭

4年ぶりの開催となった大学祭。様々な企画や模擬店が出て賑わいました。ステージイベント等に要した経費を支援しました。

#### (2) 国際交流活動

こちらも4年ぶりの開催となった国際交流プログラム。韓国、蔚山大学の学生が本学を訪問しました。学生交流会に要した経費を支援しました。

#### (3) サークル活動

活動が盛んになってきたサークル活動。新たに設立されたバドミントンサークル、ダンスサークル。そして、軽音サークル、裏千家茶道部、ボランティアサークル等々。各サークル活動に要する経費を支援しました。

### ★事務局担当者のひとりごと★

常にコロナ禍の下にあった学生の皆さん。コロナがあったからこそ当たり前の日常がより大切に感じますね。充実した大学生活が過ごせるよう、皆さんの様々なチャレンジを応援しています。(・∀・) ガンバレー

### お問い合わせ

大分県立看護科学大学後援会事務局

(大学事務局教務学生グループ内)

TEL : 097-586-4300 (代表) FAX : 097-586-4370

E-mail : info@oita-nhs.ac.jp

## 看護ひとくち メモ



### 歯の健康は、身体の健康

生活習慣病予防のためには、日々の食生活の中でいろんな栄養素をバランスよく摂ることが重要です。そして、栄養素を効果的に体に取り入れるには、健康な歯が欠かせません。自分の歯で何でも噛めるということは、食生活を豊かにすると同時に、健康の維持・増進、病気の予防にも繋がります。

#### 【目標とする歯の状態とは】

- ・80歳になっても自分の歯を20本以上保つこと
- ・60歳で自分の歯を24本以上保つこと
- ・40歳で自分の歯をすべて保つこと

#### 【歯周病を予防するためには】

- ・食後30分以内に歯を磨く
- ・ブラッシングは、柔らかい歯ブラシを使用し、3分以上かけて小刻みに磨く
- ・歯ブラシと合わせて、デンタルフロスや用途に合わせたブラシも活用する
- ・歯科で定期的に歯石を除去する
- ・虫歯を放置せずに治療をする

近年のさまざまな研究から、(1)歯周病によって噛む機能が低下すると肥満になりやすい (2)歯周病の原因菌である歯周病菌が血管に入ると血糖値をコントロールするインスリンの働きが悪くなり、糖尿病を悪化させる (3)逆に肥満や糖尿病の人は歯周病を発症しやすく、しかも重症化しやすい、などメタボリックシンドロームと歯周病は、相互に影響し合いながら、互いを悪化させることがわかってきました。歯周病を予防するために日々のセルフケアを大切に、自分では解決できない部分はプロフェッショナルケア(歯科でのケア)で歯の健康を保ちましょう。

## 看科大 [23号] クイズ・プレゼント

**問題** 本学は、1998年4月に開学し今年で〇〇周年を迎えました。

〇の中に正しい文字を入れ、下記のとおりハガキでご応募いただくか、クイズの答えなど1~5までを記載して、メール(koho@oita-nhs.ac.jp)でご応募ください。正解者の中から抽選で3名様に**図書カード(2,000円分)**をプレゼントします。

郵便はがき 870-1201 大分県立看護科学大学 事務局 行	大分市大字廻栖野2944-9 2944-9
1. クイズの答え 2. 郵便番号 3. 住所 4. 氏名(年齢) 5. 記事へのご感想や 本学へのご意見	

**【締め切り】令和6年1月31日** **当日消印有効**

当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

## Schedule [スケジュール]

1月	13日(土)・14日(日)	大学入学共通テスト
	16日(火)~26日(金)	基礎看護学実習(1年次生)
2月	8日(木)	助産師国家試験
	9日(金)	保健師国家試験
	11日(日)	看護師国家試験
	25日(日)	一般選抜試験(前期)、私費外国人留学生選抜試験
	26日(月)	進級試験(2年次生)
	29日(木)	大学院研究計画報告会(研究・広域・リカレント)
3月	1日(金)	春期休業開始(4月7日まで)
	1日(金)	大学院修士・博士修了判定
	1日(金)	大学院研究成果報告会
	12日(火)	一般選抜試験(後期)
	18日(月)	卒業式・修了式
4月	8日(月)	入学式
	9日(火)	全学オリエンテーション
	10日(水)	新入生オリエンテーション
5月	7日(火)~31日(金)	地域看護学実習、在宅看護論実習(4年次生)
	17日(金)	キャンパスクリーンデー
	18日(土)・19日(日)	若葉祭
6月	6日(木)	大学進学説明会
	10日(月)~28日(金)	総合看護学実習(4年次生)
	19日(水)	開学記念日
	29日(土)	大学院説明会

※スケジュールは、変更になる場合があります。

